

2022年度

熊本大学

教育に関するアンケート調査

【就職先アンケート 結果報告】

熊本大学 大学教育統括管理運営機構では、本学の卒業生・修了生が社会でどのように評価されているかを把握し、今後の教育改善のための基礎資料とするため本学の卒業・修了生の就職先企業・団体を対象に他大学の学生との知識・能力の比較や企業規模等についてアンケートを実施いたしました。ここでは、アンケート結果の一部について、簡単にご紹介させていただきます。

調査概要

調査対象： 本学の卒業生・修了生の就職先企業・団体 988 社（団体）

調査時期： 令和4年6月23日（木）～
令和4年7月29日（金）

回収状況： 347 票（回収率：35.1%）



熊大生が身に付けている能力・資質 BEST 3*

*「身に付けている」の割合、また「どちらともいえない」および「無回答」は除く

企業からの回答で最も優れていると評価された能力・資質は、学士課程では「豊かな教養」、修士・博士課程では「学際的領域を理解できる深奥な教養力」でした。熊大生が社会に出てからの教養力が評価されているようです。ほとんどの能力・資質において「身に付けていない」と回答した企業・団体は非常に少数でした。

学士課程 第1位 企業・団体が「身に付けている」と回答した割合



豊かな教養

教養ある社会人に必要な文化・社会や自然・生命に関する一般的知識を身に付け、異なる思考様式を理解し、知を高めていく主体的な学修態度が備わっている。

修士・博士課程 第1位 企業・団体が「身に付けている」と回答した割合



**学際的領域を理解
できる深奥な教養力**

《博士前期・修士・専門職課程》高度で普遍性のある教養を身に付け、知識を統合する能力を有し、自らの知識や理解を適用する際の社会的、倫理的責任を考慮しつつ、複雑な課題を解決できる。
《博士後期・博士課程》高度で普遍性のある教養を基盤とし、自らの知識や理解を研究に適用する際の社会的、倫理的責任を考慮しつつ、俯瞰的視野をもって学術の新たな地平を切り拓く。

No	知識・能力	割合
1	豊かな教養	98.9%
2	汎用的な知力	97.4%
3	確かな専門性	95.8%
1	学際的領域を理解できる深奥な教養力	98.5%
2	高度な専門的知識・技能及び研究力	97.9%
3	地域社会を牽引するリーダー力	91.7%

企業からの声（抜粋）

卸売業・小売業

夢があり、好奇心旺盛で、とても素晴らしい卒業生です。会社として夢を叶えるサポートをしたいと思える優秀な人材です。

金融業・保険業

課題の発見、その解決のため、周囲と連携し物事を進めていく「創造的な知性」は学生時代から培われたものだと考えます。

教育・学習支援業

コミュニケーション
スキルの向上が必要です。

学術研究・
専門技術サービス業

まだ入社間もないですが、とても優秀な人材に来て頂いたと思っています。

情報通信業

非常にまじめに、勤勉にやってくれています。私たちの指導方法がよくないのかもしれませんが、理解力・応用力は他の新入社員と比べて1枚下回る結果です。新人の時には誰もいることなので、時間をかけて育成していくことを決めています。

アンケートへのご協力ありがとうございました。